



寒川町におけるストリートスポーツパークの整備と 地方創生の取り組みについて

令和 7 年5月8日、10日



寒川町

概要



- 【背景】 少子高齢化や人口減少などの課題に直面している
- 【目的】 持続可能なまちづくりを進めるため（地方創生）
- 【目標】 若年層に選ばれ続けるまち
若年層をターゲットとした関係人口の獲得
- 【理由】 スポーツ関連施設が関係人口獲得に相関が高い
ストリートスポーツが寒川町特有の強み
ストリートスポーツが若年層のニーズや価値観に合う など
- 【取組】 ストリートスポーツパークの整備（寒川町独自の魅力創出）
 - ・ 初心者から世界トップレベルの選手が効果的に練習できる
 - ・ 世界大会の開催が可能
 - ・ パーク周辺を公園として整備

1. ストリートスポーツパーク整備の理由（基本構想）
2. 計画の内容（基本計画）
3. 寒川町都市公園条例の一部改正の内容

1. ストリートスポーツパーク整備の理由（基本構想）

～（仮称）寒川町ストリートスポーツパーク整備に係る基本構想～

寒川町における地方創生の課題
寒川町における地方創生の方向性
寒川町における関係人口獲得の方向性
寒川町独自の魅力の創出
寒川町ストリートスポーツ推進と課題

1. 今後、**生産年齢人口**を中心とした**人口減少**社会が到来

➡町の人口ビジョンでは総人口が2023年49,029人から2065年に35,661人に減少（約27%減少）

若い子育て世代は男女ともに転入超過（多くは県内近隣市から）

2. それに対し、**20歳代前半の転出超過**が課題

持続可能なまちづくりを進めていくうえで

3. **若い人に選び続けて**もらう必要がある。

寒川町における地方創生の課題

Q. 寒川町は若い人に選ばれ続けるまちか？
→ 若い世代からも評価される環境要因はある。

しごとが確保されている

製造業を中心にしごとを確保。
(一人当たりの第2次産業生産額は県内1位)

RESAS（地域経済分析システム）生産分析

通勤しやすさ

・東京、横浜圏、近隣市へ通勤しやすい
(町内3駅、圏央道IC2か所)

・町内のしごと確保されている
(昼夜間人口比率 94.7%)

社会・人口統計体系
(2023年3月31日時点)

住宅取得しやすさ

安価で取得しやすい
＜令和7年地価公示＞

平均地価：近隣市178,940円/㎡
町 130,700円/㎡

子育てしやすさ

・保育所待機児童1桁

・産後の不安を支える細やかなサポート

子どもの教育充実

・全校に外国人指導者(FLT)常駐

・ICT教育の推進

治安がいい

・令和6年刑法犯罪212件

・ほぼ自転車盗などの軽犯罪

住みやすい環境

住民アンケートでの上位項目

・治安の良さ、自然災害の少なさ

・豊かな自然環境

しかし、都心が近く、近隣市（藤沢市、茅ヶ崎市、海老名市、平塚市など）も強い中、
このままで寒川町が**選ばれ続けるのか？**

寒川町における地方創生の課題

Q. 強い自治体に囲まれた小規模自治体が 選ばれ続けるには？

今更、東京や横浜、近隣市と比較しても勝ることもなく、
同じようなまちづくりを進めても人口流出は続く…



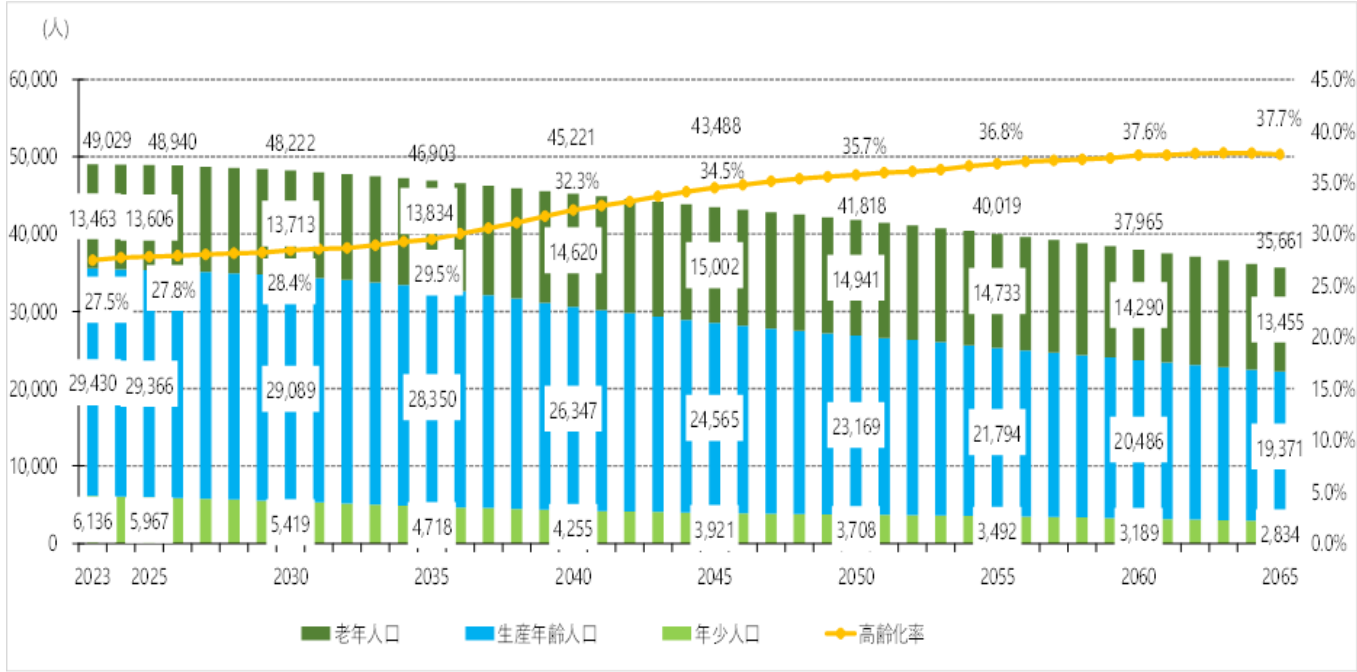
→ 近隣市の魅力も取り込みながら

寒川町独自の魅力を創出

しなければならない。

ストリートスポーツパーク整備の理由（基本構想）

寒川町における地方創生の課題



出典：寒川町人口ビジョン（令和6年3月改訂）

【現状の課題】

- 人口動態の傾向は**社会増**による**人口微増**が続いていたが、**人口減少フェーズ**に入った。
- 社会増の要因であった**ファミリー層**の転入が**減少**している。
- 近隣市と比べると**県外からの転入割合が低い**。
- コロナの収束に伴い、**都心への人口集中が戻りつつある**。

【潜在的な課題】

- 全国的に人口が減少している中、**若年層の人口獲得は、さらに困難になる**。
- これまでの**ファミリー層（住宅購入）の獲得による人口増加モデル**にもいずれ限界が訪れる。



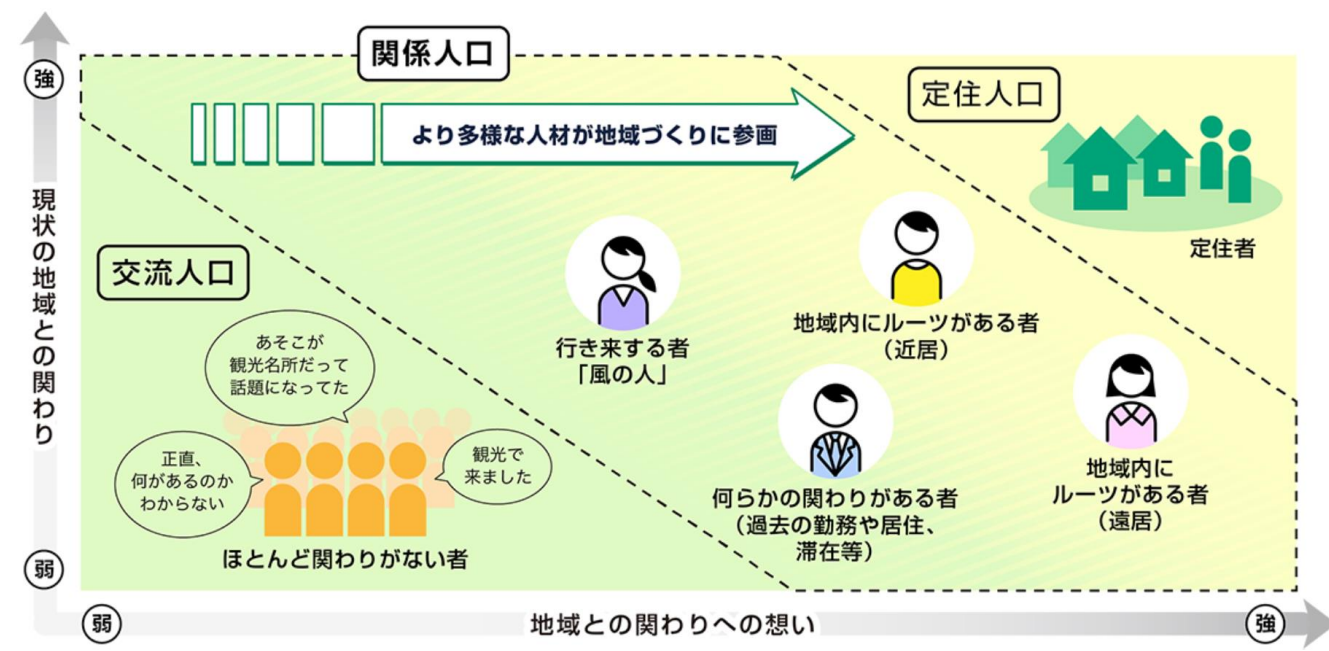
【今後の方向性】

- これまでと違うアプローチが必要**
(寒川町独自の魅力を創出)

ストリートスポーツパーク整備の理由（基本構想）

寒川町における地方創生の方向性

これまでと違うアプローチとして
関係人口の獲得に向けた取り組みを進める。



出典：関係人口ポータルサイト（総務省）より

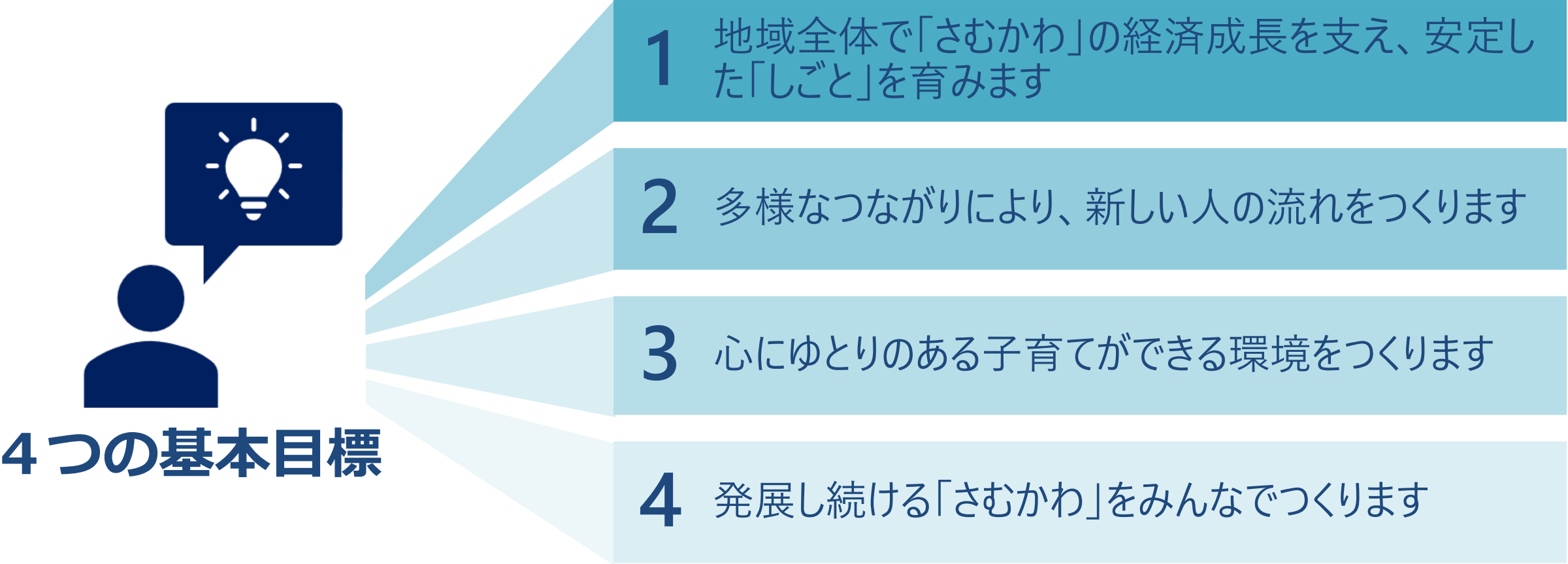
【関係人口の効果】

- ① 地域経済の活性化
関係人口の増加により、観光客や訪問者が地域に集まり、消費活動が促進されます。
- ② 地域コミュニティの活性化
関係人口の増加により、町民との新たな交流が生まれます。
- ③ 人材の流動性向上
関係人口として定期的に町を訪れる方々は、将来的に定住する可能性が高まることが期待されます。
- ④ 人材の確保と育成
関係人口として町を訪れる方々が、次世代を担う人材として育成され、地域発展の促進が期待されます。
- ⑤ 情報発信の強化
関係人口として町を訪れる方々が、体験した地域の魅力をSNSなどで発信することで地域の知名度や認知度が向上します。

寒川町における地方創生の方向性

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略（第3期） 計画年度：R7～R10

～ 少子高齢化・人口減少への対応を目的に計画を策定 ～



寒川町における地方創生の方向性

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略（第3期） 計画年度：R7～R10

～ 少子高齢化・人口減少への対応を目的に計画を策定 ～

■基本目標2 多様なつながりにより、新しい人の流れをつくります
新たに「関係人口の獲得」を目標に加え、
スポーツを通じた取り組みを位置づけました。

関係人口の獲得

スポーツ

仲間とのつながりを通して認め合える機会を提供し、運動やスポーツの継続を促すことで、移住・定住、または、まちづくりへの参加、参画につながる関係人口の創出につなげる。

主な取り組み

- 町外住民と町民との交流機会を創出
- イベント情報の町外の周知
- 民間スポーツ施設との連携

ストリートスポーツパーク整備の理由（基本構想）

寒川町における地方創生の方向性

スポーツを位置づけた根拠（体育施設における関係人口との相関）

人口1万人当たり関係人口（訪問系）の分析

国土交通省

（3）10万人以上/5万以上10万人未満/5万人未満 ①アクティビティ指標

○ 「③博物館施設数（類似施設含む）」、「⑥社会体育施設・民間体育施設数」、「⑨空港までの所要時間」、「⑭地域おこし協力隊数」では人口規模が小さいほど相関係数が比較的高くなっている。「⑦政令市・東京までの所要時間」では人口5万人以上10万人未満において相関係数が比較的高くなっている。

●人口1万人当たり関係人口（訪問系）と各評価指標の相関係数



注1：相関係数が絶対値0.2以上の場合（一定の相関関係がみられる）、相関係数のラベルを下線表示している。

11

関係人口データを用いた様々な評価指標との相関分析（国土交通省R4.6月）によれば寒川町の規模である人口5万人未満の市町村において、「**体育施設**」が**関係人口との相関が比較的高い**とされています。

寒川町において、**日本・世界で唯一の魅力のある体育施設**を整備すれば、多様な地域から定期的・継続的に訪問してくれる人を確保できる可能性が高いと考えます。

※関係人口（訪問系）とは
“特定の地域やコミュニティに対して、多様に関わる人々を示す用語です。
関係人口が地域と多様な関わりを持つことで、地域経済や地域交流が活性化します。
その結果、地域の特産品や文化が広がり、新たなビジネスや雇用機会が生まれるなど、持続可能な発展が期待できることから、関係人口の獲得は持続可能なまちづくりに重要であると言われています。

出典：関係人口データを用いた様々な評価指標との相関分析（国土交通省・R4年6月）

寒川町における関係人口獲得の方向性

Q. ターゲットである若い世代から評価される暮らしとは？

孤独・ストレス社会の中で、
日常となる平日の仕事を支える非日常における暮らしの価値の向上



都市部・大規模市街地では多様化するニーズに
網羅的に対応し、自分らしさや自己実現を可能にしている。



→ 寒川町では網羅的に対応できない。

寒川町の強みを生かしてONLY-ONEで尖らしていく！

ストリートスポーツパーク整備の理由（基本構想）

寒川町における関係人口獲得の方向性

寒川町の「SWOTクロス分析」		「機会」	「脅威」
「強み」×「機会」を生かした施策が特に効果が高いといわれている 		- 寒川町に受け継がれる「高座」のころ。のブランド化 - 年間約200万人の参拝者が訪れる寒川神社 - 産業集積拠点としての田端西地区のまちづくり - 都市未来拠点としての倉見地区のまちづくり - ストリートスポーツによる町おこし - Well-beingを重視した国の政策 - 持続可能なまちづくりに向けた地方創生の取り組み推進 - 体育施設の充実による関係人口の確保 - インバウンド需要が好調	- 大型商業施設を持つ近隣自治体との人口獲得競争が激化 - 地方経済の低迷による地方税の減収 - 増え続ける社会保障費 - 近隣自治体との若年層を取り込むための競争が激化 - 高齢者単身世帯の増、デジタルの進化に伴う地域における人とのつながりの希薄化 - 労働市場の変化、物価高騰 - 国際情勢の変化による不透明な先行き
		- 心豊かに暮らせる環境を生かしたWell-beingを重視したまちづくり（豊かな自然環境、安定した雇用、交通利便性、生活のしやすさ、町財政の健全性など） - Well-beingを感じられる拠点の整備 - 自然や歴史を生かしつつ、ニーズのある施設を設置すれば、さらに人が集まる可能性が高い - ストリートスポーツを生かした関係人口の獲得	- 長期的視点を持った行財政運営 - コンパクトな町域を活かした住民同士の顔が見える関係性の構築 - 豊かな自然環境を生かした地域内外の人とのつながりの機会を創出 - 戦略的投資による町の価値向上
「弱み」		- デジタル技術を活用した地域商店の販路拡大支援 - 子育て支援の充実や若年層向けの移住、定住促進 「高座」のころ。ブランディング施策の推進 - 施設を設置することで、商業的な魅力が向上し、にぎわいを創出させる	- 商業や公園環境の充実により、地域内外の人とのつながりの機会を創出 - 公共交通の弱さと高齢化に対応する移動環境の整備 - 施設更新や民間施設設置の機会を生かし、商業的な魅力を向上させる

ストリートスポーツパーク整備の理由（基本構想）

寒川町独自の魅力の創出

ストリートスポーツとは

- ・ 街中の道路での遊びから派生したBMXやスケートボード競技などを指す
- ・ 東京オリンピックでは若者に人気のあるスケートボードなどが採用され、**日本人のメダルラッシュ**となった
- ・ パリオリンピックでも日本人がメダルを獲得し、**若者や子どもを中心に競技人口が増加**している



寒川町独自の魅力の創出

Q. ストリートスポーツの特徴とは？

→ 若い人のニーズにマッチ

- ・音楽やファッション、アートなどの若者文化との融合
- ・ビジネスに抵抗がなく、民間を巻き込んだ事業展開に適している

娯 楽

趣 味

ス ポー ツ

買 い 物

食 事

若い人の価値観にマッチ

- ・自分らしさを表現できる（選手は固有のトリックを持っている）
＝スポーツ×アート（スポーツ選手でもあり、アーティストでもある）
- ・トリックを1つずつ習得していく。
- ・多様な大会があり、多くの大会は誰でも参加できる。

自分らしさ

自己実現

寒川町の強みにマッチ

- ・人や時間に縛られない（多様に接続するつながりが持てる）
- ・多様性がある（認め合う文化がある）
（年齢、男女、国籍、うまいへたに関係なく、一緒に練習や勝負することができる）

人とのつながり

今後の発展性が高い

- ・東京オリンピックから正式種目になり、日本人が優勝した。

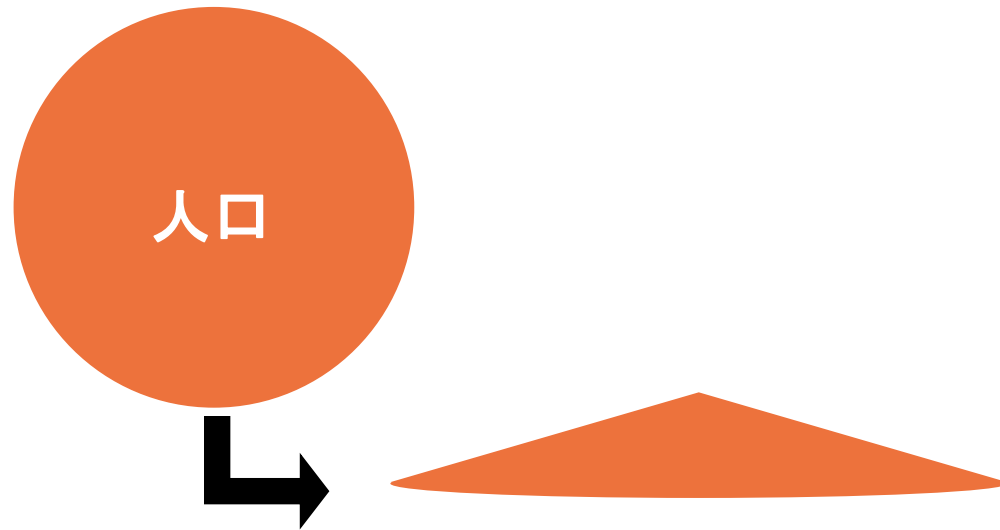
競技人口が増加中

寒川町独自の魅力の創出

Q. ストリートスポーツの特徴とは？

→ 関係人口の獲得に効果的（費用対効果が高い）

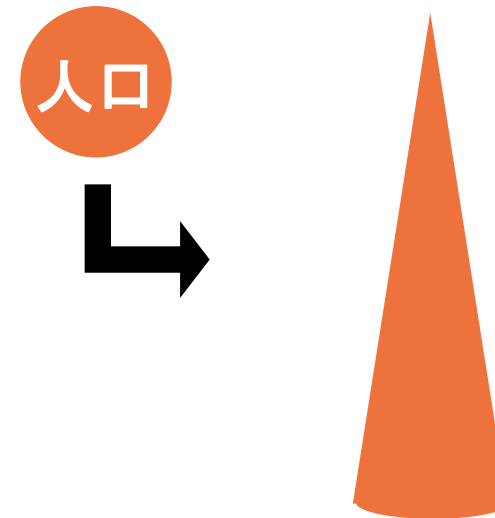
競技人口が**多い**スポーツ



- ・差別化が図りづらい（施設の競合が多い）
- ・近隣の住民しか訪れない

= 地方創生ではなく**住民サービス向上**

競技人口が**少ない**スポーツ



- ・**差別化が図りやすい**（日本、世界で唯一）
- ・日本中、世界中から訪れる

= **地方創生として効果的**

ストリートスポーツパーク整備の理由（基本構想）

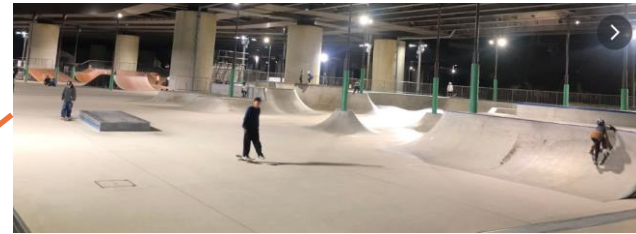
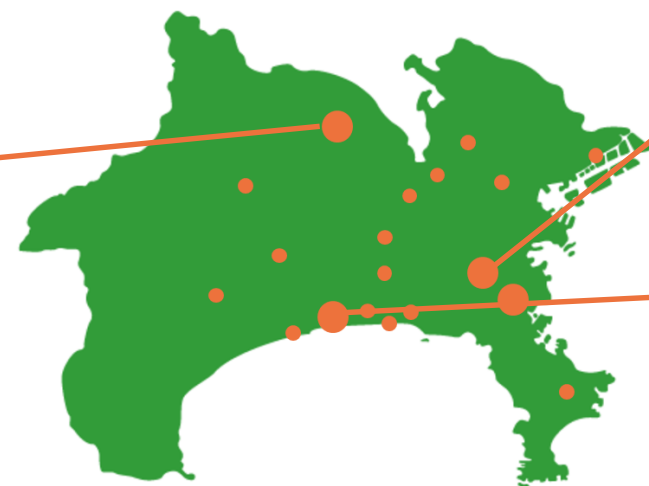
寒川町独自の魅力の創出

Q. ストリートスポーツの特徴とは？

→ 関係人口の獲得に効果的（施設の差別化ができる）



小山スケートパーク（公設・相模原市）



新横浜公園（公設・横浜市）



湘南わくわく広場（公設・茅ヶ崎市）

県内他施設

↑ ↓

町想定施設

屋内練習場は少ない。公民連携している施設はない。プロ仕様の施設はない。
BMXフラットランド練習場（誰でも利用できる）は寒川町が世界初。現在、国内に他に1か所（埼玉）。
スケートボードとBMXフラットランドが練習できる施設は世界で唯一。
若者のニーズを満たした（カフェ、お店、音楽など）施設はない。
プロが在駐する施設はない（見られる／教えてもらえる）

寒川町では、公民連携で若者のニーズを満たした初心者～上級者が利用できる**屋内施設**を整備する予定。
寒川町は県のほぼ中心で圏央道ICがあるなど、**県内外からアクセス**しやすい。
相模川に隣接してパークを建設することで、**自然豊かな寒川町の良さ**を伝えられる。

施設の差別化ができ、
地方創生に効果的

地図は国土地理院「基盤地図情報データ」をもとに神奈川県が作成したものを編集・加工しています。

ストリートスポーツパーク整備の理由（基本構想）

寒川町独自の魅力の創出

Q. 寒川町にストリートスポーツは馴染むのか。

→ 寒川町らしさとの**親和性が高い**

寒川町はブランドスローガンを『「高座」のころ。』とし、
「穏やかさ」「優しさ」「あたたかさ」という寒川らしさを大切にし、
未来へ継承することとしています。

ストリートスポーツは、競い合う面もありますが、それ以上に**認め合う文化**があり、寒川町ブランドとの親和性が高いスポーツです。
東京オリンピックでも話題になっていたとおり、ストリートスポーツは、
滑り終えた選手たちが国籍にかかわらず互いの健闘を**称え合う**姿など、
今までの“常識”に当てはまらないスタイルです。
また、子供からプロの競技者まで、性別や国籍を超えて、みんなが同じ
フィールドで練習しています。**多様なひとが尊重し合い**ながら練習
することで調和が生まれています。



「高座」のころ。

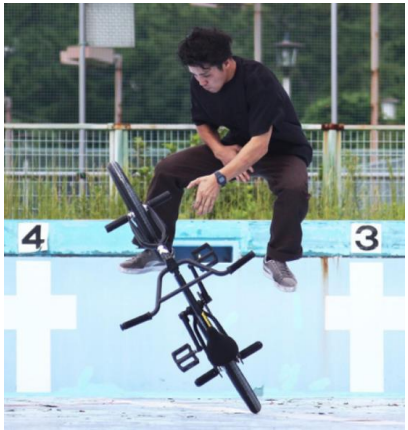
高座郡さむかわ



ストリートスポーツパーク整備の理由（基本構想）

寒川町独自の魅力の創出

ストリートスポーツを軸に世界で活躍する選手が集まり、町特有の強みとなっている



BMXフラットランド

【移住】

内野洋平
田圓直人
森谷天斗
片桐 悠

11度の世界チャンピオンに輝いている。ストリートスポーツのアイコン的存在。
ARK LEAGUE(全国)優勝。など
ARK LEAGUE(全国)準優勝。など
X-GAMES(世界)優勝。ARK LEAGUE(全国)優勝。など

【移住予定】

片桐 亮

FISE(世界)優勝。など



スケートボードストリート

【移住】

白井空良
藤澤虹々可

ARK LEAGUE(世界)優勝。X-GAMES(世界)優勝。SLS(世界)優勝。東京五輪7位。パリ五輪4位など
スケートボードストリート(世界)優勝。日本オープン優勝など

【移住予定】

織田夢海

CHIMERA(世界)優勝。ストリートスケートボード(世界)優勝。X-GAMES(世界)3位など



ストリートスポーツパーク整備の理由（基本構想）

寒川町独自の魅力の創出

世界で活躍する選手たちが求心力となり若い人が集まるまち（関係人口の獲得）

になりつつある



世界大会の開催がきっかけに



世界チャンピオンが寒川に移住



町外から練習に集まる子どもたち



親子で楽しめるパークを設置



日本中から集まる選手たち

ストリートスポーツパーク整備の理由（基本構想）

寒川町独自の魅力の創出

若い人に寒川町を選び続けていただき、持続可能なまちづくりを進めていくために
寒川町特有の強みである **ストリートスポーツ** をONLY-ONEとして尖らしていく。

全国的にストリートスポーツ施設は増加しているが、寒川町には求心力のある
選手たちが寒川町に移住している。この **世界で活躍する選手たち**こそが世界唯一の
寒川町だけの強みである。

ストリートスポーツの特徴を生かし、**若い人のニーズ**である **買い物** **食事** **娯楽**
趣味を中心に充実させていくとともに、**若い人の価値観**である **自分らしさ**
や **自己実現**に寄り添った展開をしていくことで **寒川町独自の魅力を創出**する。

ストリートスポーツを通じて **人とのつながり**をつくることで、
人がひとを呼び、多くの若い人が寒川町の関係人口となり、生産年齢人口の確保を図る

寒川町ストリートスポーツ推進と課題

寒川町の取り組み

民間と寒川町が協力し、ストリートスポーツを通じて
寒川町独自の魅力の創出を進めている

民間がBMXフラットランドとスケートボードストリートの**屋内練習場**（町内）
「THE PARK SAMUKAWA」を運営し、ストリートスポーツの普及推進をしている

事故の危険性〇

騒音緩和

寒川町は、町内の**子どもたち向けの無料練習会**などを通じて
ストリートスポーツの推進に関する取り組みをしている

脆弱性緩和

ストリートスポーツパーク整備の理由（基本構想）

寒川町ストリートスポーツ推進と課題

ストリートスポーツ推進の課題と今後の取り組み

■音響を使用する大会の開催

関係人口を効果的に獲得するために、音響を使用する環境を整え、大規模なイベント・世界大会が開催できるようにする必要がある。

■誰もが親しみ、楽しめる環境形成

全国から選手などが集まれるように、子どもからトップ選手までが親しみ、楽しめる環境を形成する必要がある。

■若い人のニーズの充足

若い人に選ばれるために、若い人やファミリー層のニーズである買い物、食事、娯楽などを満たす必要がある。

今後の取り組み

■新たなパークの建設

新たなパークを建設し、**全国から集まる選手**が練習できる環境を整える。
また**世界大会**開催や多くの方が練習を見学できるように**観客席**なども整える。
さらに**若い人のニーズ**を踏まえ、**民間との連携**によるさらなる魅力創出を図る。

- にぎわい創出
- 十分な広さ確保
- ニーズ対応

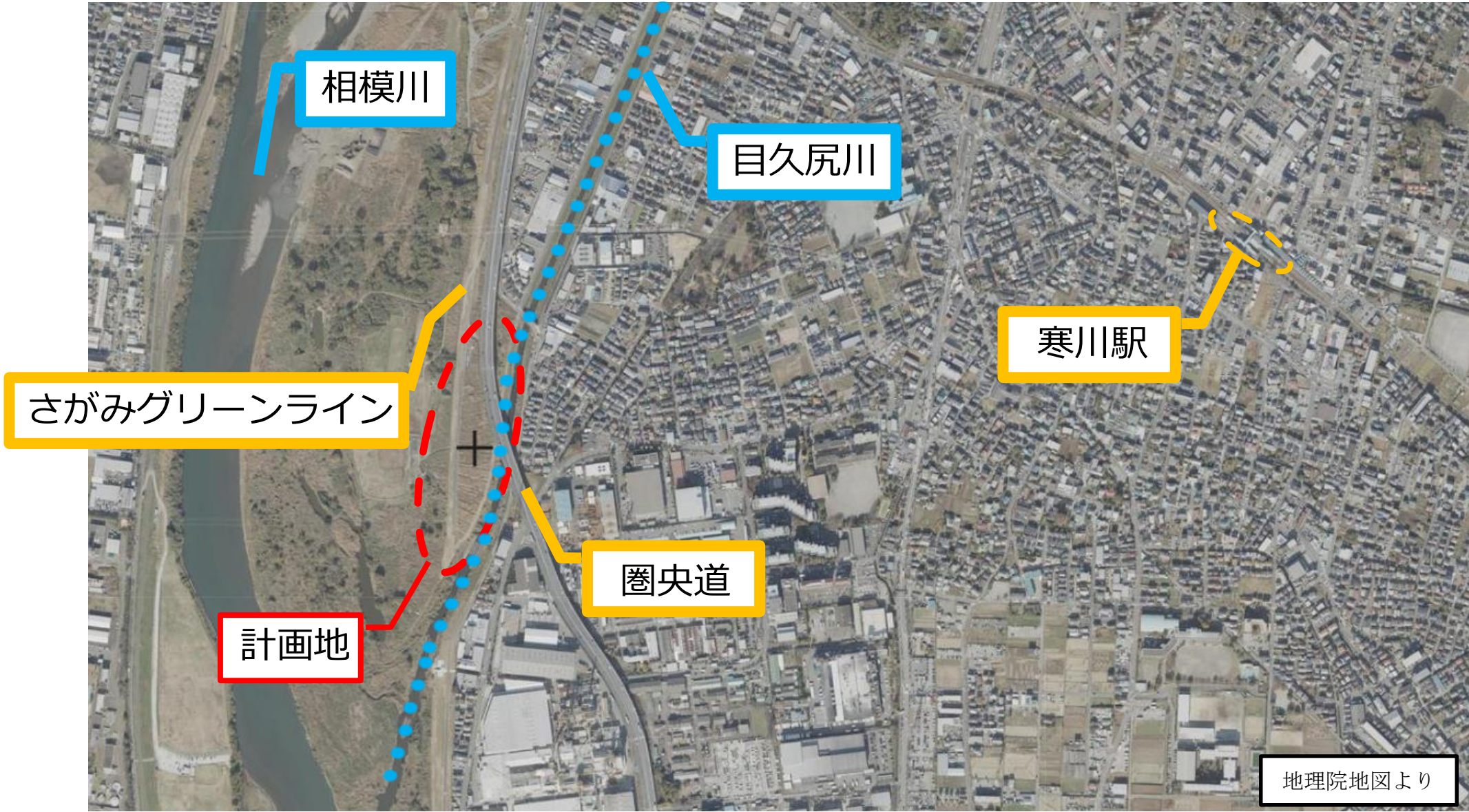
2. 計画の内容（基本計画）

～（仮称）相模川一之宮公園整備に係る基本計画～

計画地（位置図）（眺望）（隣接するさがみグリーンライン）
上位計画・関連計画等の関係 / 計画条件の整理
公園の全体像 / 公園整備のコンセプト
にぎわいの公園 / やすらぎの公園 / 過ごし方の想定
事業手法【民間活力の活用】の検討 / 事業想定スケジュール

計画の内容（基本計画）

計画地（位置図）



一之宮五丁目地内
寒川駅から徒歩約20分
相模川と目久尻川に隣接

計画地（隣接するさがみグリーンライン）



説明会資料「寒川町におけるストリートスポーツパークの整備と地方創生の取り組みについて」

計画の内容（基本計画）

計画地（眺望）



富士山

大山

相模川

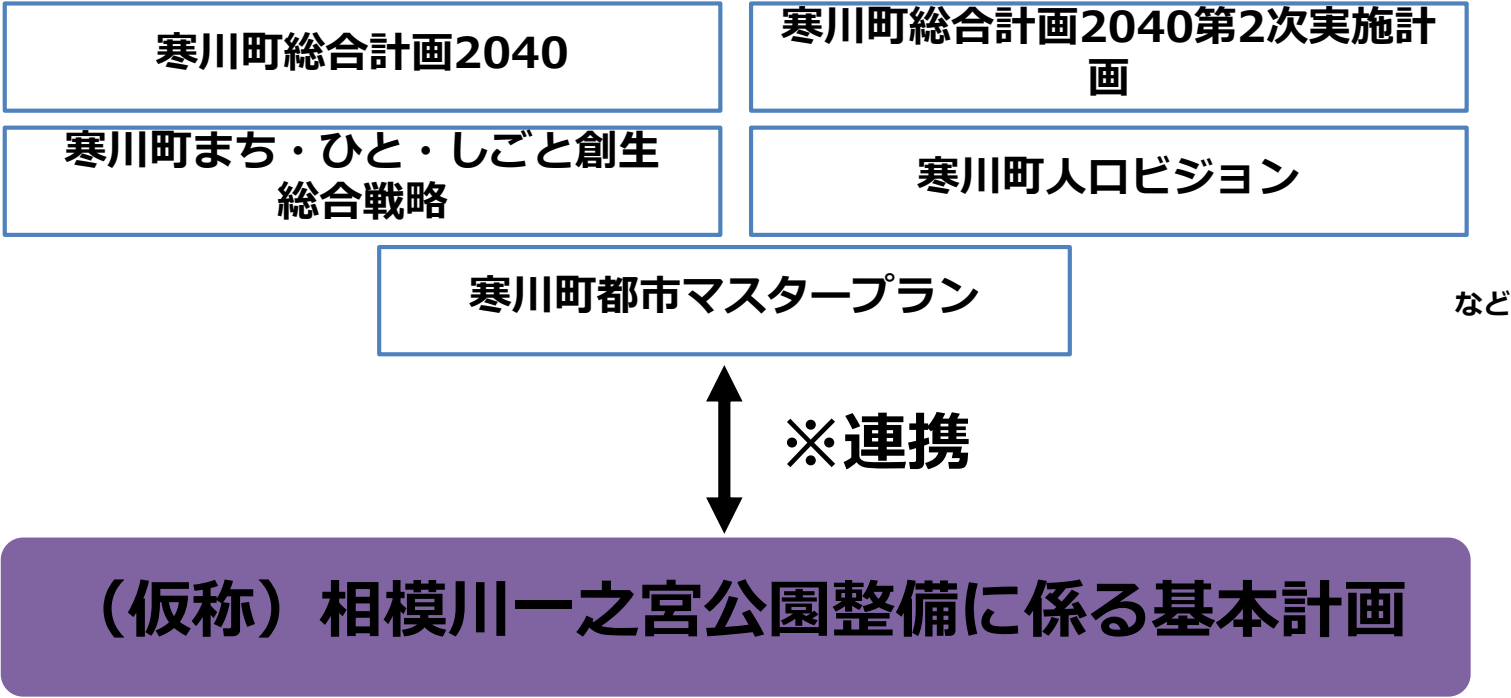
丹沢山塊

上位計画・関連計画等の関係

○ 上位計画



○ 各種関連計画等



上位計画は
「寒川町スポーツ推進計画」及び
「寒川町みどりの基本計画」です。

各種関連計画等と連携を図ります。

計画条件の整理

敷地・道路・インフラ

- ・ 新設道路の整備
- ・ 上水道、下水道、ガス、電気、NTTの整備

都市計画法

- ・ 都市公園法に基づく事業として整備

建築基準法

- ・ 世界大会開催による関係人口獲得に向け観覧場（観覧席）の立地を許容することを検討

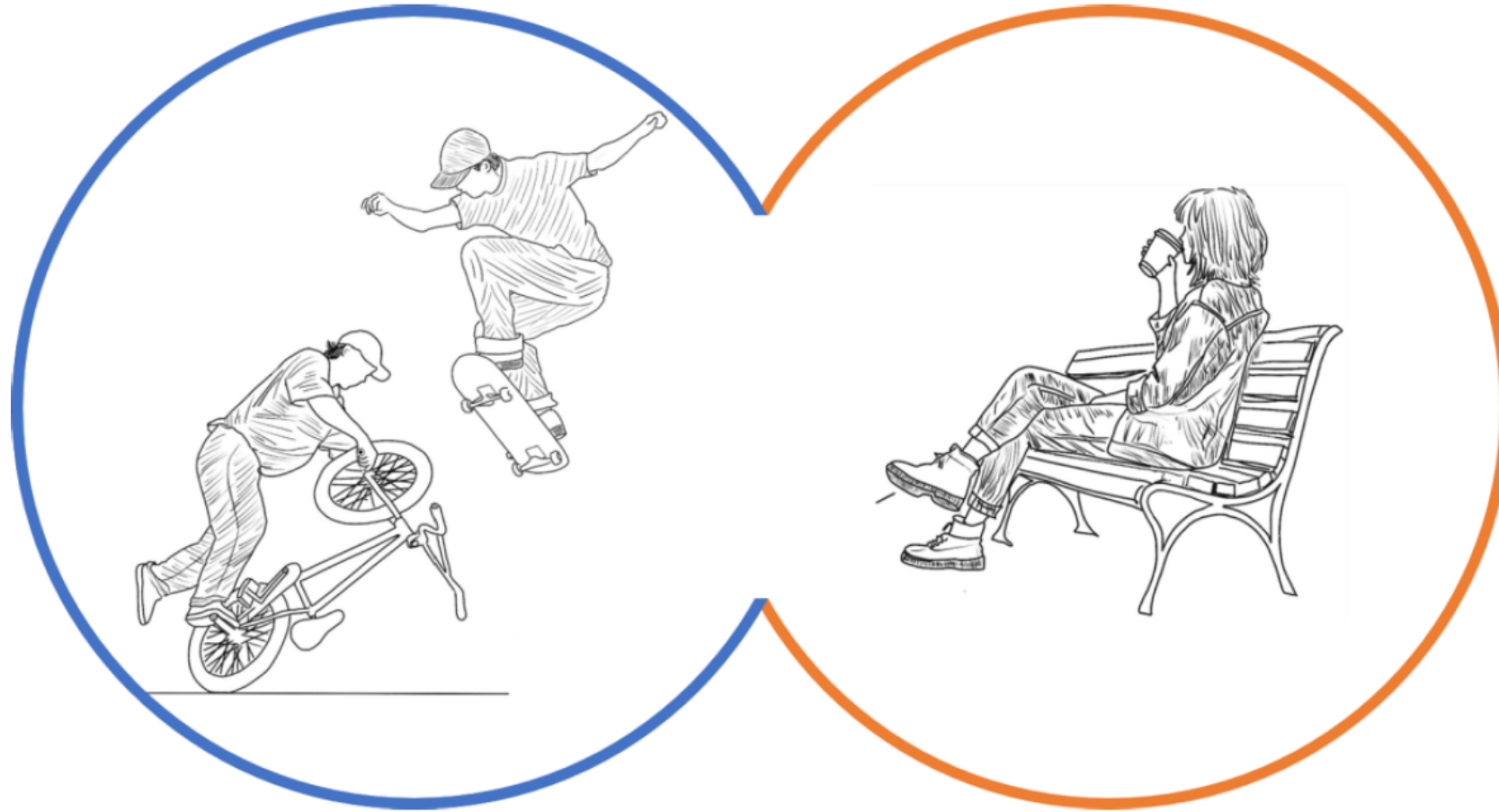
河川法

- ・ 工作物の位置等の調整
- ・ 土地利用の調整

都市公園法

- ・ 公園施設の設置基準の緩和

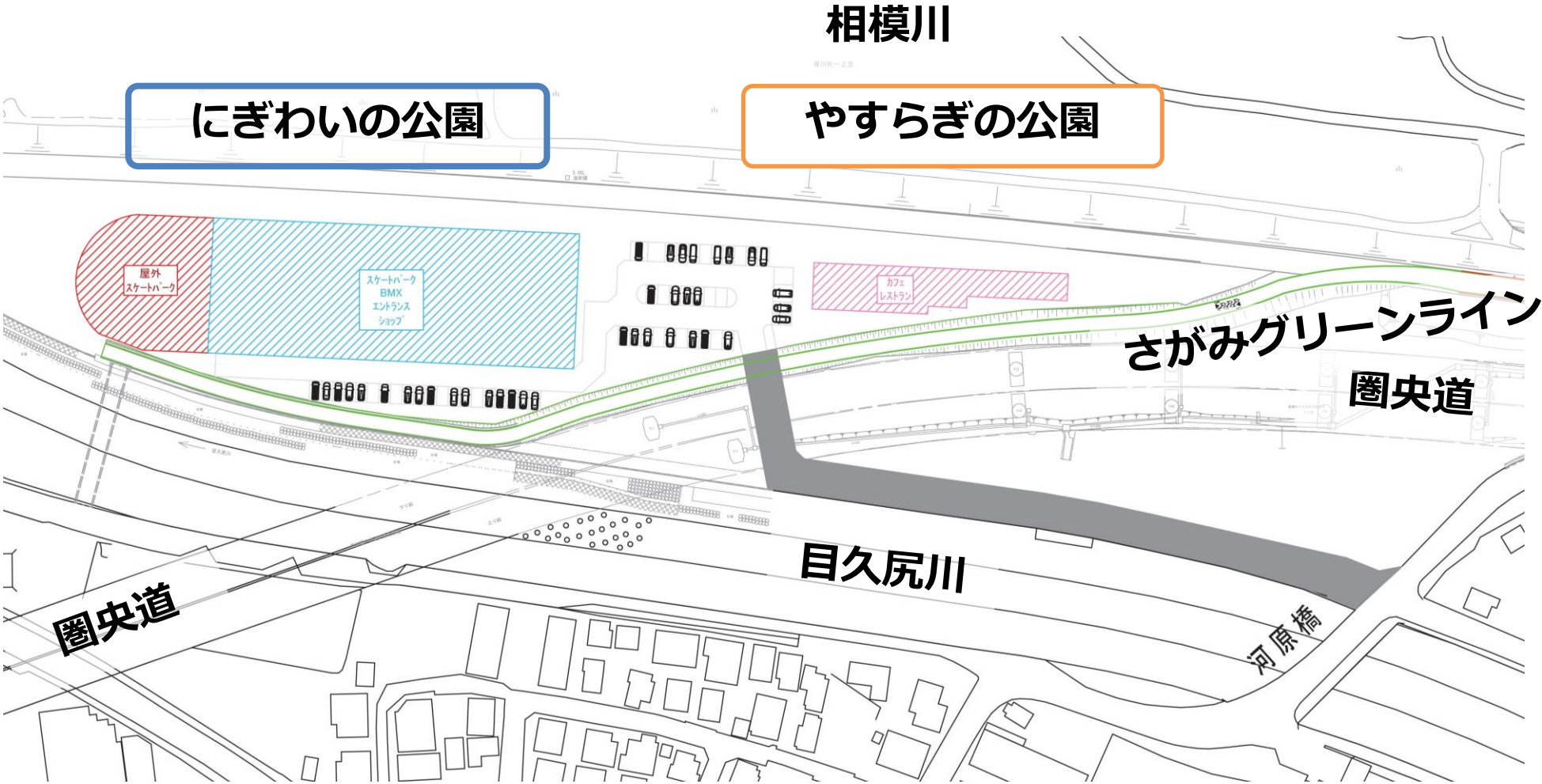
公園の全体像



公園は、ストリートスポーツを活用した地方創生と隣接するさがみグリーンラインの休息地等としての役割とを両立させた公園を目指します。

計画の内容（基本計画）

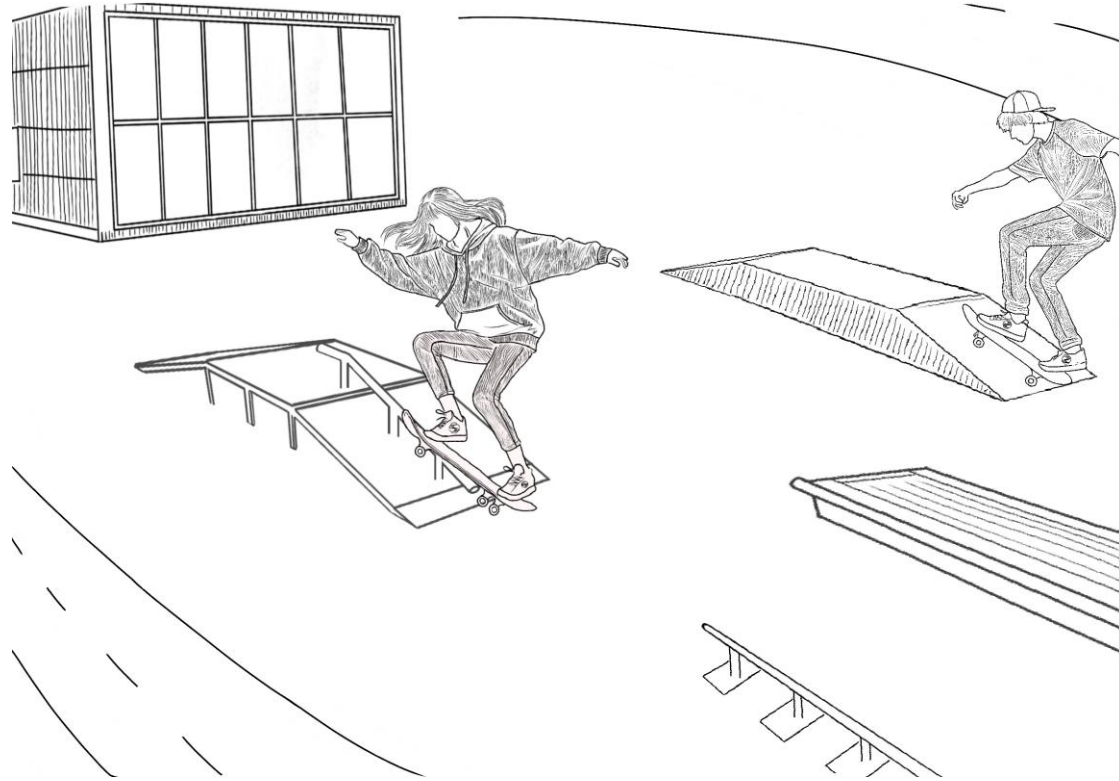
公園整備のコンセプト



「にぎわいの公園」及び「やすらぎの公園」という2つの軸を設定し、多くの方が集い、楽しみ、憩える空間として整備を計画します。

計画の内容（基本計画）

にぎわいの公園



整備費想定金額 約16.4億円

幅広い世代の方々が集い、活気あふれる空間です。

例えば、広場などに親子連れで遊びに来たり、世界大会などのスポーツイベントにより多くの方が集まることなどを想定しています。

機能（想定）

- ・スケートボードストリート競技スペース（屋内・屋外）
- ・BMXフラットランド競技スペース（屋内）
- ・管理者エリア
- ・売店（主にストリートスポーツ関連用品、自転車関連用品）



- ・**初心者から上級者が練習できる環境形成**
- ・**世界大会が開催可能な環境形成**
- ・**ナショナルトレーニングセンターの指定**

やすらぎの公園



自然の景観を楽しむことや、園内の休憩スペースなどで憩う空間です。

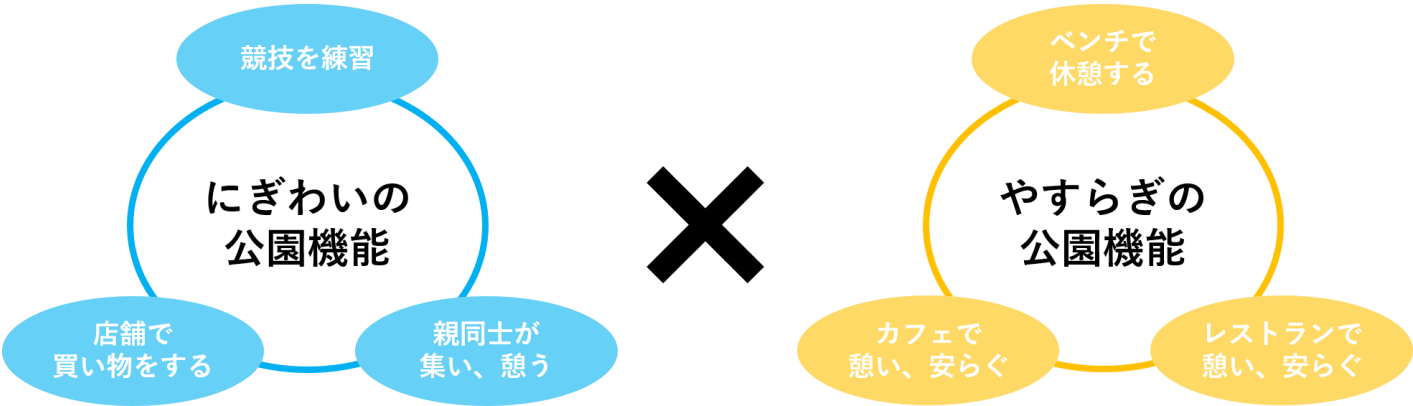
例えば、隣接するさがみグリーンラインを散歩しながら豊かな景観を楽しむことや、カフェやベンチ、陽だまりでくつろいだりすることを想定しています。

機能（想定）

- ・ 休憩スペース（屋内・屋外）
- ・ 交流スペース（屋内）
- ・ 緑地帯

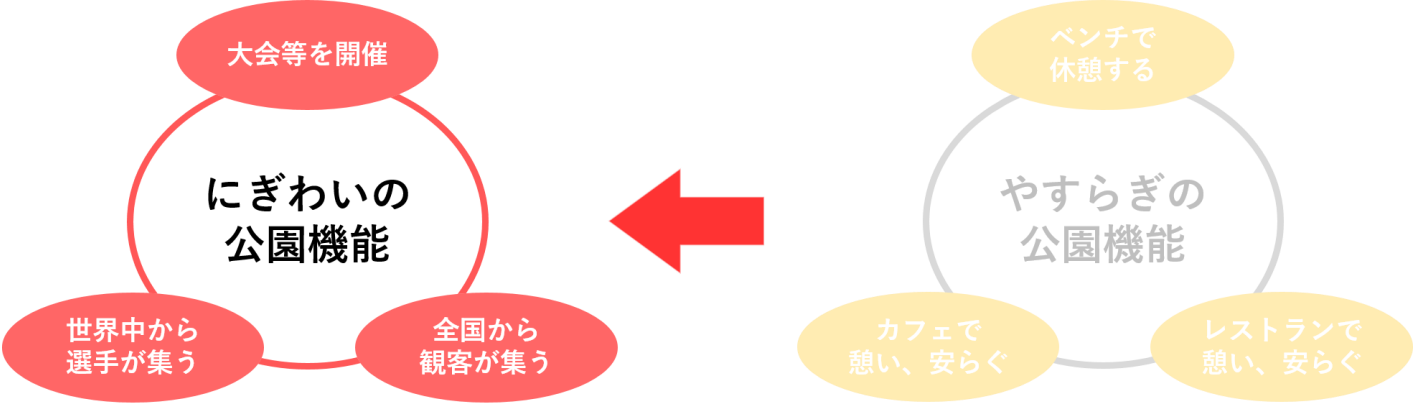
過ごし方の想定

① 通常利用時



にぎわいの公園とやすらぎの公園による利用者等の幅広い世代の方が快適に過ごし、かつ、交流できるような配置とします。

② イベント時（世界大会を想定）



通常時より来場者が多いことが予想されます。
やすらぎの公園機能の一部転換や臨時駐車場の確保などを検討します。

※やすらぎの公園機能を一部停止

事業手法【民間活力の活用】の検討

公園全体を一体で整備・管理などのエリアマネジメントを行うために、複数の手法を組み合わせた整備を積極的に検討します。特にDBまたはDBO及びP－P F Iなどを組み合わせた手法を検討します。

指定管理者制度

DB、DBO

設置管理許可制度

P－P F I

P F I 事業

都市公園リノベーション協定制

コンセッション事業

事業想定スケジュール

ロサンゼルスオリンピック開催時期（令和10年7月）を踏まえて、令和9年度中の供用開始を目指します。

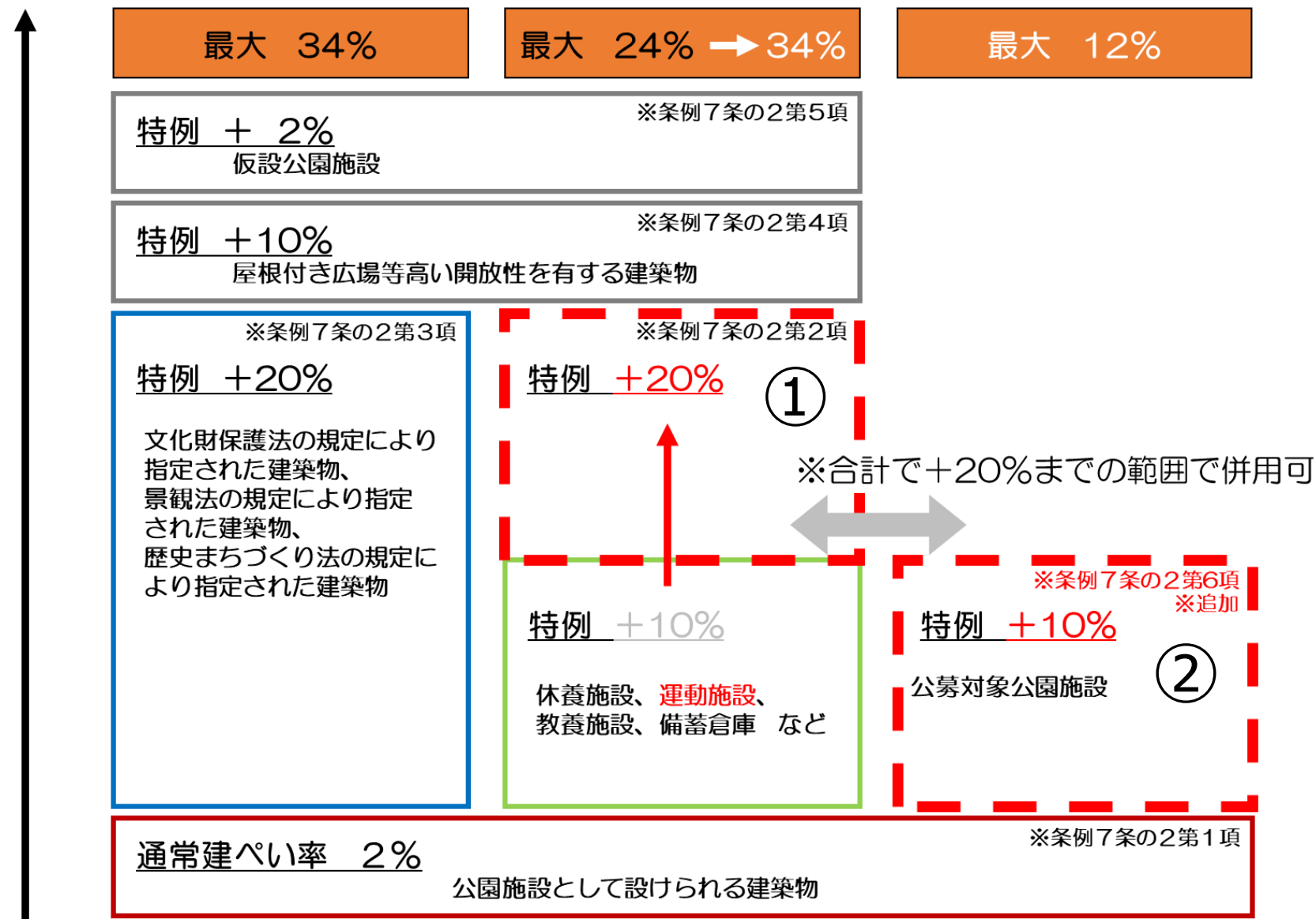
令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度
 ・基本構想、基本計画策定 ・町民説明会 ・パブリックコメント ・町都市公園条例改正 ・サウンディング調査 ・事業者選定 ・インフラ関連工事	 ・町道、インフラ関連工事 ・基本協定等締結 ・施設関連手続 ・公園施設整備工事	 ・開業 ・施設供用開始	

3. 寒川町都市公園条例の一部改正の内容

建ぺい率の緩和

寒川町都市公園条例の一部改正の内容

建ぺい率の緩和



現在想定しているストリートスポーツパークやカフェなどの建設にむけて建ぺい率を緩和します。

赤枠点線①のとおり緩和することでストリートスポーツパークが建設できるようになります。

赤枠点線②のとおり緩和することでカフェやレストランなどが建設できるようになります。

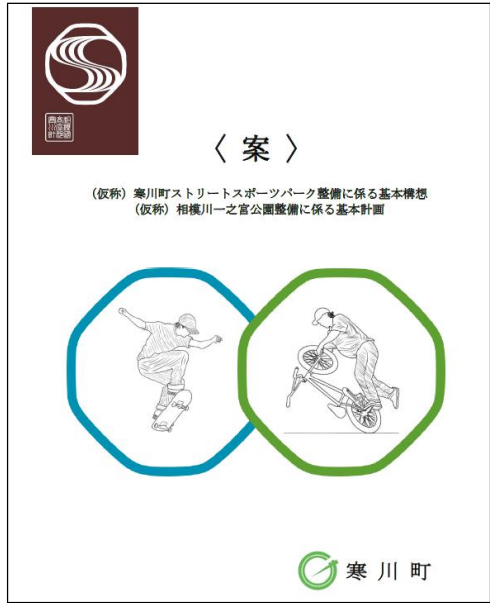
※寒川町都市公園条例一部改正（イメージ図）

本日の内容

概要（おさらい）

寒川町まち・ひと・しごと創生 総合戦略

↑ ストリートスポーツを軸に
関係人口を獲得



↓ ストリートスポーツを活用し、こころ
豊かな暮らしへの効果も図る

寒川町総合計画2040

- | | |
|-------|---|
| 【背 景】 | 少子高齢化や人口減少などの課題に直面している |
| 【目 的】 | 持続可能なまちづくりを進めるため（地方創生） |
| 【目 標】 | 若年層をターゲットとした関係人口の獲得 |
| 【理 由】 | スポーツ関連施設が関係人口獲得に相関が高い
ストリートスポーツが寒川町特有の強み
ストリートスポーツが若年層のニーズや価値観に合う など |
| 【取 組】 | ストリートスポーツパークの整備（寒川町独自の魅力創出）
・初心者から世界トップレベルの選手が効果的に練習できる
・世界大会の開催が可能
・パーク周辺を公園として整備 |
| 【目 的】 | 町民のこころ豊かな暮らしの実現 |
| 【将来像】 | つながる力で 新化するまち |